昭和二十五年（1950）定價一ヶ月五十圓 一部賣二圓　磐城毎日新聞　六月二十七日（火曜日）第31号（日刊）

磐城毎日

發行所 福島縣平市南町六六（平局區内）
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

# 豫算の更正不可能

## 失業救濟現在のまゝ

### 勞働省陳情の代表歸る

豫てより石城地方失業者就勞問題を携げて上京中だつた根本職安所長代理、上村平土木所長、大塚平市土木課長等代表一行の勞働省陳情に對し本省齋藤職安局長から左の回答を得て廿五日歸平した

一、ワクの擴大は失業對策の年度豫算は四十億円で一、四半期十億円に限定されているにも拘わらず第一、四期に既に十一億円を支出し第二、四半期のワクに一億円程喰い込んで居り關係當局と折衝の上豫算の更正を行うが或は暫定措置として第三「四半期分を第二、四半期に繰上げる方法によるしかなく各地からの要望を容れるとすれば全國で第二、四半期分として十五億乃至二十億円を要し困難である

一、責任小廻り制の實施については失業對策の本來の意味から拘束作業時間をあくまで八時間制として各個人の作業能率の度合によつて賃金等級を定める建前から不可能

一、平均賃金の格上げについては全國十一ブロックに分れ各地方生活程度によつて地域的に多少の相違はあるが最高賃金は或程度の單價で豫算を押へられているので檢討の餘地はあるが直ちに實現する事は至難である

との結論である、右につき根本課長は語る

勞働省には全國各地からワクの擴大の要求で陳情團が押すな押すなの有様で政府當局も對策に腐心しているが豫算の關係で相當困難視されている、平職安管内の失業對策の就勞者數は一、四半期千三百二十名（うち縣費操作によるもの五十名）である、これを二千五名までワクを擴大する樣強く要望して來たがこの要望を貫徹すべく一層努力する考えである

寫眞版
調製迅速
大和田印刷所製版部
平市仲町 電七二九番

# 健保の實体調査と

## 町村代表の指導を行う

國民健康保險は法令によつて市町村の公營が建前であるが市町村の實情によつては組合又は營利を目的としない社團法人によつて運營する事も許されて居り平市では昨年四月より公營に轉し、円滑な運營が行はれるに至つた、石城郡下に於ける健康保險は二十九町村の中公營によつて運營している町村は湯本、赤井、植田山田、夏井、田人豊間の七ケ町村に過ぎず他の町村は何れも組合によつて運營して居り四倉町外三ケ村は全然健康保險制度を實施してゐない實情で組合制度で實施してゐる町村に於いても一、二名の保健婦を置いて保健衛生の巡回指導を行つてゐる程度で健康保險の目的である醫療給付を實施にまで及んでいない町村が大部分となつてゐる厚生省及び縣當局では町村の公營とするよう指導しつゝあり縣では石城地方に於ける健康保險の實体調査のため二十六日長澤事務官を出張せしめ同日午前九時より地方事務所會議室に於いて管下各町村の代表者を招集し各町村の報告に基き實体調査並に公營に對する指導を行つた

# 平市議會招集

## 提出議案きまる

平市議會の定例市會は三十日午後一時から開く事となつた提出議案は次の通りである

一、二十五年度豫算追加更正
一、旅費支給條例の改正
一、警察職員俸給支給條例改正
一、競輪場建設費一時借入れに付承認を求める件
一、專決處分につき承認を求むるの件

以上で二十五年度の豫算更正は飯野、神谷兩村の合併による農地委員會の經費の追加更正で專決處分の承認を求むるの件は寳クジ發行の指定申請について事後承認を求めるものであり競輪場はまだ認可は得ないが認可あり次第急速に着工する必要上豫め市會の承認を得て置くものである

## 珠算の檢定試驗

# 合格者發表

商工會議所主催第九回珠算檢定試驗は二十五日平商で行つた、受驗者百八十三名にたいし合格者は八十名で級別に見ると括弧内は受驗者數

一級（五）松崎年宏、二級（一七）石井喬、馬目久夫宗形登美夫、增田宗純、村田利子、三級（八六）大阿久政光外五十二名、四級（四六）杉田波朗外十四名、五級（五）大谷雅代外一名、六級（一四）金成愛子外三名となつてゐる

# 社説

## 課税の公平を期せ

石城地方事務所管内事業税の附課九千名の内異議の申立をした者四千名に達し其の内半數の二千名が異議の成立を見たと云はれてゐる、税の減額に於て三百五十万円が業者間で浮んだ譯である、これ等は概して大口納税者間の異議申立ての成立で滞納處分を受けた中小業者九百九十件の内八百件が小口だつたため中小業者に對する課税が大口に比べて荷が重かつたことは

「始めての賦課税であつたためと職員の不足なのと基準調査による見込み課税を行つた結果大口業者の内容實態の把握が出來なかつたこと、その爲め中小業者に重く且つ嚴格に過ぎたきらいがある、本年は職員の增員により見込賦課をなくして各自の實態調査に基礎を置く」

と卒直に語つてゐる、出たら目な賦課の爲めに社會には幾多の悲喜劇を發生してゐる、主管大臣でも粗漏な税行政を認めてゐるし無責任な放言によつて味噌を付けてゐるが何時までもこんな無茶な税行政は斷じて許されるべきでない、見込課税なんて乱暴な事務が官吏の行ふべき仕事であるとはあきれて物が言えなくなる、事玆に至らしめた原因の一つには税務吏には勝てぬと云つた一般の先入意識と逃げるだけ逃げた方が得と云つた狡猾さから正しい申告を怠ることや、情實政策を公然と行うことを擧げることが出來る、然し何よりも悪いことは税務官吏の質の低下と破廉恥な一部の者の存在から明るい社會生活を暗澹たらしめたりにつこり笑つて納めるべき税金を澁らしたり悲劇を出すことは嘆かわしいことである、眞に實態を把握し課税の公平を期するならば現在の課税標準を下廻ることは税務當局も一般もひとしく認めてゐることである、その適正課税に兩者の歩み寄ることの一日も早からんことを願うものである。

# 官衙學校職員錄（其十七）

### 平商業高等學校

校長 服部甲
敎諭 松崎友文
山崎千秋
下山田勤
清水幸藏
花澤武
前松鑛
鎌須賀鐵彌
渡邊コト
岡部ミキ
山崎道雄
石崎久雄
近藤キン
高橋恒壽
飯島登司
合津輝雄
小原健次郎
御代武久
森川忠吉
和田忠
長谷川光雄
佐藤辰夫
阿部信順
日比泰子
講師 鳴原四郎
若松光一郎
事務職員 中野恭一郎
加藤一
淺田賢藏
田澤秀夫

### 平第二高等學校

校長 服部甲
主事 松崎友文
敎諭 齋藤榮一
佐藤精一
佐藤久彌
木田健二郎
鈴木義一
事務雇員 西尾希江

竹内光春

### 平市立第三中學校

學校長 菱沼儀
教務主任 草野求
藤田正美
藁谷庸吉
横濱堅五郎
永山カツエ
掛田サタ
草野敏雄
菅波ミノル
鶴山早起子
松崎盛雄
大塚敏郎
鈴木國友
鈴木ウメノ
佐藤善春
水野正至
古川トヨ子
桐原鳳純
酒井健次郎
齊藤孝幸
眞野和子
永島脩宏
蛭田好一
大谷ヒサ子
佐藤善春

### 平郵便局職員錄

局長 小倉利市
▼庶務會計課
課長 阿部清吾
庶務主事 渡邊廣
會計主事 村田與一
庶務主任 志賀昌平
會計主任 新妻保夫
切手主任 片寄茂
用品主任 永山猛之輔
郵政相談所主任 松本利雄
大河内彌重郎
和田ツル
菅厚德彌
郡司春雄
山崎政江
猪狩國吉
平宮旭
高野一
野木叶

【つゞく】

# 教組で協議

## 通信講習にせよ

二十四日平第二小學校に於て敎員組合石城支部委員會を開き認定講習第二次計畫案に對して次の三點を掲げて散會した、

一、認定講習を拒否しても法律は殘つて居る以上非合法鬪爭はやらない
二、二級仮免の敎育は各學校内で指導又は通信敎育で行はせテストの場合のみ集合する樣にすること
三、第一次計畫豫算一千五百万円に對し第二次計畫には三千万円の豫算を要求し若し出ない時には法律に無理がない樣に改正することを國會に陳情する

# 磐城舞子の宣傳へ

## 内容の充實に總會開く

二十五日縣立公園磐城舞子觀光協會では關係町村長、助役等約五十名が出席總會を開き、二十四年度決算、今年度豫算、大野村の新加入等に付て協議すると共に觀光事業のなお一そうの充實を期すよう觀光道路整備簡易休憩所、脱衣場等の完備を計る一方縣當局に對し施設一部補助方を要請することになつた、磐城舞子は久の濱、四ッ倉、大浦、大野、夏井、高久、豊間の三町四ヵ村二十粁に亘る白砂の風光明媚な海岸地帶であり縣内六箇所の指定公園中唯一つの海を有する景勝の地である

## 職安出所張新設

# 町村協議會

△二十七日午後一時より植田町役場で平職業安定所出張所設置の打合せ會を舊菊田方部町村長全員參集の上で行ふ。

# 河川の改修案縣へ

## 冠水から草野村を救う

草野村地内原高屋、赤沼を流れる赤沼川は降雨ごとに汎濫し溢れる泥水は附近一帯の耕地を冠水農作物の被害は甚大にのぼるものでこれが河川の改良方を要望されてゐたが今回の洪水から湖水と化し作物の全滅に近い被害など實情を知つた縣當局では工事參千万円を投じ赤沼川の緩流勾配を一千五百米に亘り改修する豫定であるが本工事の完成される場合は各主要道路がよくなるものとして期待されてゐるものである

## 縣觀光理事會七月開く

縣觀光連盟常任理事會は來る七月初旬磐城舞子地内で開く、なほ一行は會議後磐城舞子地内の景勝史跡を視察する

# 人事ニュース

佐藤平職業安定所長は縣失業對策本部總會出席のため二十九日出縣三十日歸廳

坂本惣次郎草野村長廿六日來平即日歸村

△敎委縣事務局專門職員内地謙三先生は就學事務協議出席のため二十六日來郡の豫定△敎委石城出張所社會專門職員草野先生は社會敎育主任打合せ會出席のため二十六日出縣二十七日歸廳△敎委石城出張所員古市先生は免許狀事務打合せ出席のため二十六日出縣二十七日歸廳

# 慶弔錄

## 婚姻

△十三日石城郡好間村大字愛谷木田芳光（三〇）と平市大字中平窪字辰の口松本政子さん△五日伊達郡石戸村大字石田管野宣恒氏と平市紺屋町飯塚テツさん。△五月七日石城郡泉村大字下小川字宿川、渡邊利應氏（二四）と石城郡錦町大字長子字仲町小野とし子さん（二三）△二十一日石城郡湯本町木村政夫（三二）と同町猪瓜富美子（二六）さん

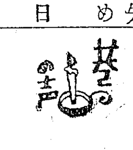
## 出生

十八日平市仲町酒井伊助長女谿子さん

## 死亡

二十四日平市白銀町荒木忠雄氏（六六）

△二十三日平市杉平二〇金成毅氏（三一）



七月一日のアユ解禁を迎え東北配電平營業所では若アユの名産地双葉郡下木戸川で約七十名が一日午後から泊りがけで出かけアユ釣り大會を行ふ、釣成績優秀者に對しては山積の賞品が待つてゐるとか氣の早い釣天ぐ連もウキウキ仕事も手に付かず毎晩釣竿をだいてねてゐるとか所内釣天ぐ連の氣心はすでに木戸川え行つてゐる

○ソース二合で○
○拾萬圓當る○
キリンソース特約店
東京ソース界の王者
食料品
藥品
雜貨
鍛治町二十九
佐々木商店
電話五〇三番

平市本町通三丁目
佐野屋陶器店
猪狩嘉平
電話二二四番

醬油、味噌、アミノサン
製造業
磐城醬油株式會社
社長 會川延太郎
平市久保町三八
電話八一七番

内科 外科
諸橋醫院
平市下川原四
電話一〇八三番

第六回
◇勸銀福德預金◇
幸運賞………五十萬圓
特賞………十萬圓
其の他空くじなし
一口・千円・期間六ヶ月
無税
只今賣出中
七月二十二日 抽籤
日本勸業銀行平支店

# 恵れぬ兒童に愛情を

## 家庭や學校に教組で呼かく

教組石城支部第三回支部委員會では平盲ろう學校の寄附金を募集することになつた同校兒童は六十五名で出身地別は平市一二、石城郡三〇、双葉郡一三、相馬郡一〇名となつてゐる、これ等の兒童は戰後兒童福祉法や身体障害者法等の恩恵により保護を受けてゐるが法律のみにてはまたまた徹底の域には達してゐないものあり、この不具者の家庭的にも恵れない者が大部分を占めてゐる現状から學校運營にも幾多の困難を感じて居り之れを知つた學校教育者間には今でもしばしば不幸なる兒童の生活に潤えを與えると共に學習の便を計るなど蔭の援護に盡してゐたが更に愛護の力をかり度いと盲聾唖渡邊學校主任は教組に呼びかけてゐるので近くは各學校を通じて各家庭からも社會から餘り顧られなかつたこの不具な兒童等へ溫い愛の手が差しのべられることになるであらう

# 埋立工事終つて

## 四ツ倉中學建築近し

四ツ倉中學校は敷地問題等に就て種々紛糾をかもしたことがあつた總坪一千七百三十五坪工費二千万円で同町と大浦村の境に建立されるが敷地埋立、基礎工事も大体終つたので近く本建築に取かゝることになつた、町當局としては一應八月末には生徒が登校出來る様にしたい意向、同校の中學生は現在、四ツ倉小學校、大浦小學校、新築校舎附近の元工場あと三ケ所に分散授業を行つてゐるもの。

場で新漁法の進展について同町漁業協同組合長らと語り合い、一泊二十九日午前四時から近海底曳き漁業船の活動振りを視察する

# 自轉車の物統

## 違反に罪金五万圓

石城郡植田町金畑六中興商事株式會社代表取締役安田錬太郎(三七)は二十二年十二月二十七日から三十日までの間に三十六インチ新品自轉車四十台を平、夏井、高久、大野、錦、入遠野、江名濱、小名濱、泉の各農業會に四十一万二千円で賣却し十三万三千二百円の不當利益をむさぼり、平簡裁で物統令違反の略式命令で罰金五万円を言渡された

# 健全な娯樂

## スクエヤ・ダンス

教育會石城出張所では會社工場鑛山その他勤勞者にスクエア・ダンスを晉及しようとしてゐる、若人の單調なそして慰安の機關がないのにかんがみ野に山に、健全な娯樂として取りあげることが出來、都會も農村もこのダンスの普及によつて老若男女が愉快に樂しむことが出來ると云うもので各方面から申込みあり次第指導者の斡旋をすることになつた

# ロバート氏

## 二十八日小名濱へ

東北民事部ロバートホール氏は二十八日、小名濱町役

# 暴行事件

## 實地檢證

二十六日松本檢事、志郎裁判長外二判事、矢吹事務官は湯本町字天王崎地内山神神社の御堂と、湯本町水ノ谷字亀屋四國機械土木飯場に出張し少女暴行致傷罪の容疑者假出所中の土工早尾幸一外八名を同行の上それぞれ現場檢證を行つた

# 疫痢で死亡

勿來町字關田小野友子(五)さんは二十二日發病二十三日疫痢と判明、同日死亡した

# 女教員討論會

來る一日午前九時より市内第二小校に於て青年婦人教員の討論會を開く

# 平エグランドに

## ラグビー競技

來る一日縣ラグビー協會では平工高グランドで一般希望チームを集めラクビー大會を開く希望者、チームは二十八日まで東北配電平營業所に申込まれたい、一組七人で一チーム會費二百円當日賞品を與うことになつてゐる

# 高校生徒家出

平市南町無職リン長男平工高二年生石川文俊(一七)君、同十五町目金吉(五二)三男新制中學三年生涌井正夫(一四)君の兩名は二十六日午前八時ころ登校の途中行方をくらましたが、文俊君が福島市え行つて働くむねの書置を殘していつたため家出と判明

# 醉つて兄を切る

二十五日午後十一時四十分ころ内郷町白水土工湯川助三郎(三二)は醉つぱらつて歸宅し自宅附近にゐた兄の採炭夫辰雄(三五)と些細なことから口論を始めノコギリで兄の眼下にきりつけて、十二針におよぶ傷害を與へ内郷町署に

# 東北籠球磐高女優勝

第六回東北高校籠球選手權大會は盛岡市で行はれ、縣代表磐女高は女子部で榮ある優勝をかち得た、磐女高の優勝は十二年ぶりである選手一行十名は昨二十六日午後三時大橋校長を始め外生徒多數の出迎へのうちに元氣に歸校した、戰績は次の通り

△準決勝 磐女高38―30大曲女高

△決勝 磐女高20―12盛岡女高

優勝した磐女高籠球部主將石橋洋子さんは私達は毎年縣大會に福女高に破れて縣大會には優勝する事がむづかしく亦隨つて東北大會にも優勝するとは夢の様でこれも地元の皆様の御後援の恩惠と感謝して居りますと元氣であつた

# 嚴しい奉公先から

## 二人組娘出奔

茨城縣多賀郡松岡町高木千枝子(一九)同高萩町高萩字秋山菊地千代子(一五)の兩名は二十五日午後十時頃同小木津町の奉公先の家庭の厳しいのをきらつて家出二十六日朝平驛前をうろうろしているところを平鐵道公安官に保護された。

# 高校選拔野球

石城高校野球選拔リーグ戰二十四、五の兩日磐高球場で行つた、磐高4―0小名高、平工5―4磐農、内高8―5湯高、磐高8―5平商、平工18―4湯高、内高7―1小名高、磐高8―6磐農。

# 東日本軟式

## 野球予選

東日本軟式野球大會平豫選は二十四、五の兩日平工球場及市營球場で戰績は次の通り

丸通18―1白銀青年、平稅務所3―6MBM、豊田自動車12―1平保線區、東南クラブ6―2大洋、平イレハント5―4平電通局、MBM8―2豊田自動車、平電通局4―3大坂造船、△準決勝、丸通8―7MBM、平イレハント4―0東南クラブ

郡豫選出場チームは丸通、平イレハントであるが平イレハントが棄權して東南クラブが平代表となり來る一日、二日の兩日平市で開く郡豫選に出場する

# 炭礦庭球大會

## 山本(茨木)組勝つ

第三回炭礦庭球大會は二十四日、平商高コートで△決勝リーグ、好間、A0―2常磐B、好間B對好間AはAが棄權順位は一位好間B二勝、二位常磐B一勝一敗三位好間A二敗、四位好間C棄權△個人戰、準決勝

大沼渡邊(好間)4―0山本柏(茨木)

本田阿部(好間)4―2長谷川比佐(常磐)

決勝

大沼渡邊(好間)―本田阿部(好間)棄權

三位決定戰常磐長谷川組棄權の爲茨木山本組が不戰勝となつた

寫眞說明＝マルトモホールで盛況を極めた石城郡下寫眞屋さんの作になる寫眞展示會場

# 百万圓の破藏檢擧

## 全國手配中平地區署で

平地區署では二十二日宮城縣亘理郡生れ住所不定露店商岩佐喜代司(三二)二十四日好間生れ住所不定露店商星保三(三六)岩瀬生れ住所不定露店商矢吹正雄(三五)三人は窃盗字入山古物商增子好美(四二)を故買容疑で逮捕した三名は共謀の上星を首班とする窃盗團を組織し昨年十月ころ星と矢吹は共謀で好間村北好間農業鈴木吉一方の土藏を破り衣類百八十二点時價二十二万円相當を窃取したのをはじめ同十一月五日午後十一時半ころ前記三名共謀の上好間村上よし間字上野原農業齊藤伸子方の土藏を襲い衣類二十点時價三万圓相當歴同十一月七日午後十二時ころよし間村上好間金成憲道方の土藏の錠を破り現金十一万八千圓衣類八十二点時價二十五万九千円當當を盜み昨年八月から一月ころまでの間に破藏十件空巣四件計時價百万円相當の窃盗を働いてゐたもので内郷町よし間村方面を專門に荒し一月末頃追及の手が厳しくなるや岩佐は自宅に歸り星と矢吹は茨城縣水戸市に逃げ高三名とも全國指名手配となつていたもので水戸市大工町に露店を出してゐたが二十四日さらに高飛びしようとしたところを張込中の平地區署の引地、稲田、田崎の三刑事に捕つたもの。

# 株式市況

## (磐城證券)

―二十六日現在―

韓國事變から軍需株に人氣が集り鐵鋼機械資源株等に強力な物色買が見られた、從つて金詰りの折柄身代りに平和産業株が賣られて安くなつたが安値は亦買の手が入つて持直したものがある、船株もつれて昂騰したこゝ二三日材料の出方如何では相當波らんを繰返すだらうがどつちにしろ鐵鋼機械は安過ぎたのだし産業の基調をなすものだから買つてよいとの意見が強い様だ東京でも今日は幾分氣迷が見られたが明日あたりから面白くなる、出來高も二百万株以上

| | | | |
|---|---|---|---|
| 鋼管 | 四七 | 呉羽化 | 五〇 |
| 東洋紡 | 一六〇 | 苫小牧 | 一四九 |
| 鐘紡 | 一二六 | 十條紙 | 一二五 |
| 日清紡 | 三五 | 本州紙 | 一六〇 |
| 呉羽紡 | 八〇 | 日セメ | 六〇 |
| 日東紡 | 七七 | 磐城セ | 一七〇 |
| 片倉 | 四四 | 小野田 | 二二 |
| 帝人 | 一〇四 | 不動新 | 三九 |
| 東洋レ | 八八 | 陽和不 | 一〇三 |
| 新光レ | 一四一 | 開東不 | 三四 |
| 山パル | 一〇七 | 三越 | 四〇 |
| 東海上 | 五〇 | 日麥酒 | 四四五 |
| 新郵船 | 一三 | 朝麥酒 | 四三九 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 三井船 | 九九 | キリン | 二〇三 |
| 日發 | 三三・五 | 寶酒造 | 一四五 |
| 三井山 | 四五 | 野田醤 | 三六〇 |
| 日石 | 六九 | 豊年油 | 一二四 |
| 三井造 | 八一 | 高壓 | 五一 |
| 日立 | 三〇 | 日產化 | 五五 |
| 東北パ | 一二九 | 日活 | 一三六 |

# 綴方教室

## 眞の幸福とは

磐女二年 半谷順子

幸福な現在々々の蓄積が始めて幸福な全生涯である。過去の不こうは現在のこう福への手段にプラスにはならぬ。嚴冬の後の陽春ほど喜びは多いからマイナスにもならぬけれども。過去のこう福は、現在のこう福への、現在のこう福は未來のこう福への助けとなるものである。

〃こう福たらん〃と容易に言つてもそれは難しい問題かも知れない。他人を慰めよ。他人を慰め得る人はそれだけ自らのさちを意識するであろう。眞のこう福は、香りなき藁ではないのだ。不こうだとて嘆くことはない。不こうなる人は幸への道を求める希がある。人生には春もあれば、冬もある。しかしかくいう不こうとは何か。幸と不こうは不可分なものである。眞に幸を理解しない者は眞の不こうも又理解していないものである。しんにこれらを理解することは、私にとつてまだまだ難しいことなのである。ラロシブユウは言つた〃人間は、人間の想像する程、決してこう福でも不こうでもない〃と。私達の求めるこう福とは案外この様な、さゝやかなものかも知れない。活きていること自身すでにこう福というべきかも知れない。(終り)

# 魚菜相場

## 【鮮魚市況】

―二十六日現在―
(單位貫)

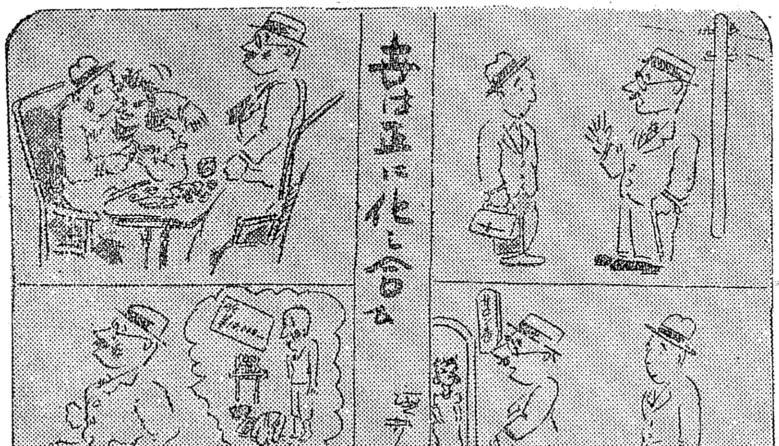
| | |
|---|---|
| かつを | 三〇〇―二四〇円 |
| あじ | 一七〇―一五〇円 |
| いか | 二〇〇―一七〇円 |
| ばじまぐろ | 二二〇―一八〇円 |
| えび | 六〇〇―三〇〇円 |
| がり | 二四〇―一九〇圓 |
| きちじ | 一四〇―一〇〇円 |

## 【青果市況】

―(マルサ市場)―

總集荷二千貫、市況稍活潑

| | |
|---|---|
| きやべつ | 一七―十二円 |
| きうり | 五〇―三五円 |
| さやえんどう | 一三〇―一〇〇円 |
| なたまめ | 一二〇―九〇圓 |
| たけのこ | 四〇―三〇円 |
| たまねぎ | 四五―二五円 |
| 梅 | 七五―六〇円 |
| 櫻桃 | 一五〇―一二〇円 |
| トマト(一箱) | 二九〇―二二〇円 |
| 桃 | 二〇〇―一八〇円 |
| 馬鈴薯 | 三〇―一五円 |



洋酒
ビール
日本酒
皆様の喫茶店
二十三日より開店
銀春
材木町
文化劇場裏通

十錢屋セトモノ店
渡邊右一商店
平市一丁目三二
電話八四三番

肉精
平驛前
伊東肉店
電話一〇二二番

欅特殊材商
ベニヤ板
天井板
床廻材
阿部銘木店
平市搔槌小路
電話一〇七五番

帽子、袴物
カヤ 染替
和服、洋服
湯通し
洗濯プレス機仕上
丸伊クリーニング店
平市南町

昔懐かし流線型
王子石鹼特約店
皆様の松崎商店
荒物・陶器
平市新川町
松崎商店
電話一七二番